

# 放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

事業所名： 夢門塾笠岡2組

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	4			・上手に人数を分散させている。
	②	職員の配置は適切である	4			・職員同士で声を掛け合いながら支援をしている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	3	1		・常に掃除をしている。おもちゃの消毒に心掛けたい。 ・室内の清掃だけでなく、玩具の消毒なども行うようにする。 ・感染症が流行る時期なのでドアノブなどの消毒も念入りにしていく。 ・毎日掃除をきちんとしている。インフルエンザの時期なので消毒を念入りにする。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4			・ミーティングで話し合っている。 ・朝礼の時のミーティングできちんと話し合っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている		1	3	・今回初めて保護者向け評価表をお配りしたので、その評価表を観て改善していく。 ・アンケート結果を共有し改善目標を考えるようにする。 ・2組での実施は初めてなので、今後は業務改善につなげていきたい。 ・今回が初めてのアンケート調査だったため、今後確認し改善していく。
	⑥	自己評価の結果を公開している	4			
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	4			・職員会議で支援の内容の振り返りを行っている。 ・職員会議時に子どもへの対応や、大人としての対応の研修も行っている。 ・職員会議で研修する機会がある。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4			・職員全体で親の困り感、子どもの様子を知らせ、把握し、具体的な内容にするように努力している。 ・職員間でケアカンファレンスシートを作っている。問題が起きれば職員間で話し合っている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	4			・担当を決めて行動している。 ・個々に分担を決め、活動をしている。 ・イベントなどで担当を決め、行動できている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	4			・アイデアを出し合いながらワンパターンにならないように気を付けている。 ・長期休みではイベントを多く入れ、固定化しないようしている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4			・イベントやお出かけをたくさん取り入れ、様々な経験が出来るようにしている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4			・集団行動が苦手な児童には無理に参加せず、個別で対応している。 ・完璧ではないが子どもの様子を見ながら、集団に入れられない時は個別で関わるようにしている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			・朝礼で話し合っている。 ・毎朝の朝礼時に確認している。 ・朝礼で毎日できている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			・毎日記録し、ミーティング時に話し合いをしている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4			・家庭、学校での様子を詳しく聞き、次の目標へつなげるように意識している。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	4			

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4			・電話、メール、送迎時に適切に行っている。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めている			4	・今後の課題だと感じている。 ・今後の課題だと思っている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している			4	・まだその状況になっていない。 ・移行した例がない。 ・前例がない為分からない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	4			・気になる事、出来た事など、まずは職員間で話し合い、保護者様に伝えている。 ・保護者様と気になる様子は伝え合うようにしている。 ・職員間で話し合い、保護者様に連絡出来ている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	4			
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4			・相談を受けた際、一度話を持ち帰り、管理者に伝えるようにしている。 ・相談を受けると一度持って帰り、管理者・職員に報告している。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	4			・座談会を開催し、交流する機会を設けている。 ・座談会を開催し、保護者同士で話ができる場を作っている。 ・座談会を開催し、保護者同士が話し合える機会を作っている。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4			・月に1回夢だよりを発行している。
	㉗	個人情報に十分注意している	4			
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			・分かりやすい説明をするように心掛けている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	4			・ボランティアの方を招いて、紙芝居などを行った。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、周知している	4		
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4			・年に2回以上行っている。 ・年に2回以上の避難訓練を行っている。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			・年1回研修に参加している。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している			4	・対象児がいない。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	4			
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4			・朝礼で話し合っている。

保護者様評価、自己評価についてまとめ

・引き続き利用者の出来ることや課題を職員間で共通理解し、その情報をモニタリングや送迎時に保護者様にお伝えすることで理解のずれ違いがないよ

うに気を付けていきます。そのためにも職員が気づいたことがあればすぐに報告し、気づいた課題とどのように向き合うか、またどのような対応を行うかを朝礼やミーティング時に話し合います。利用者にとってより良い日々を過ごせるために迅速に対応し、課題を乗り越えていくことを常に目標にしております。

・保護者会については平日に行うこともあり、お仕事の都合で参加しづらい方もいるという状況です。家族参加型の行事等は計画を立てる際に、どのような内容だと参加しやすいのかを検討しており、また課題だと感じております。まだ日程は未定ですが、開催予定日が決まり次第すぐにご連絡させていただきます。

・苦情等についてですが、何かあれば管理者に連絡していただけるようにお伝えしており、保護者様全員情報共有した方が良い案件が発生しましたら、すぐにお知らせします。

・冬は特に色々な病気にかかりやすいということもあり、衛生面や体調面の管理を徹底したいと考えております。3月ではコロナウイルスの流行があるため、職員利用者ともに手洗い・うがい・検温を行い、2時間おきに換気、ドアノブやおもちゃなどに消毒を行うよう心がけていきます。

・これからも利用者や保護者様の支援が出来るよう、積極的に研修に参加し、より質の良いサービスの提供が出来るように頑張っております。